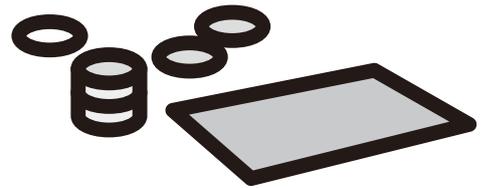


不況に 負けない!

1日の生活費1010円 よしっ! やってやる!



～私大生仕送り額過去最低のなか、奮闘する中大学生～

中大を含む私大生の1カ月の平均仕送り額は1986年の調査開始以来、過去最低の9万1300円であることが分かった。家賃を除いた生活費は1日1010円。これも過去最低。大学生の暮らしが東京地区私立大学教職員組合連合(東京私大教連)による「私立大学新入生の家計負担調査2011年度」で明らかになった。中大学生の生活はどうなのか実態をレポートした。対象はアパートなどを借りて通学する「一人暮らし」の男子、女子学生。親元から通学する「実家暮らし」の男子、女子学生、計4人。浮かび上がってきたのは、儉約して奮闘する姿だった。

1 僕、家計簿つけています (一人暮らし 男子学生3年Yさん)

経済学部のYさんは家計簿をつけている。毎日の支出を細かくノートに書き出し、最終的に1カ月単位でその月の支出を計算する。

「こうして“見える化”をすれば無駄な費用が一目瞭然で、それを次の月に活かすことができます」

少額で暮らす日

儉約術2点目は、〇〇円以内で生活する日を月に〇日作ることだという。

「自分に制限をかけることで、無駄な費用を抑える工夫をしています」

3点目は、毎日ご飯だけを弁当箱に詰め、生協2階でおかずを購入する。

「本当に生協にはお世話になっています。毎日、ご飯代が浮くだけでも、かな

り違いますから」

Yさんは、実家は関東にありながら通学に時間がかかるため、大学の近くで一人暮らし。1カ月の収入は12～14万円。内訳は奨学金6万円、アルバイト代6～8万円だという。

会長、ゼミ長、インターンシップ

忙しい学生生活だ。大規模な運動サークルの会長を務める一方で、複数のゼミに所属してゼミ長・副ゼミ長を兼任。さらにはベンチャー企業でインターンシップを行っている。

「限られた時間の中でアルバイトをするのは大変」だそうだが、「一人暮らしはお金がかかるため仕方ない」という。

1カ月の支出は12万円以上。家賃と

公共料金の支払いが大部分を占める。続いて食費や交際費の割合が高い。

「サークルやゼミなどの飲み会が多い。でも、人との繋がりを大切にしたいので、積極的に参加するようにしています」

♪ハピネス

現状に満足していますかと聞くと、「満足していませんね。もっと時間がほしい!まだまだやりたいことがたくさんあります」

と、熱い想いを語ってくれた。

サークル、ゼミ、インターンシップなど忙しい大学生活に併せて、節約にも取り組む。辛い時にはAIのハピネスを聴きながら、今後もYさんの奮闘は続く。

(学生記者 藤森皓子=文学部3年)

2 レシートをノートに貼ります

(姉と暮らす 女子学生1年)

姉(大学3年)と大学近くで2人暮らしをしている文学部の薄井さん。節約術は自己流の家計簿づくりだ。

きっちり付けているわけではないが、1週間単位で区切り、購入した品のレシートをノートに貼っている。

「週ごとの出費が分かって“コレ買わなければアレ買えたな”となるので次週気を付けるから節約になります」

奨学金ありがとう

1カ月の収入は8万円。すべて奨学金だ。7万円が食費や洋服代、交際費となっている。

「月によって出費額は違う。この月は入学準備として、いつもより多く洋服代にお金を費やしました」

1日の出費は700~800円。昼食代が大半を占める。

「朝は忙しいので、買ってしまうか食べないで学校に来ることが多いですね。自炊は夜に頑張っています」

親元を離れての生活は大変である。朝起きるのも寝ていることを咎める人がいなければ、いつまでも寝てしまうものである(学生記者の私もそうだから)。

文房具を集めることが趣味の彼女は、気に入った「付箋」を見つけると500円以内なら買ってしまう。これまでに幾つも持っている。無駄だと分かっているけど、お気に入りの文房具をそろえることが「癒し」なのだ。

アルバイトを始める

入学して2カ月ほど。まだアルバイト収入がない。このほど塾講師のテストに受かり、6月から始めた。

「時給1200円以上なので、普通の

バイトよりは高い。余裕ができれば掛け持ちしたいです」

姉との暮らしには満足している。

「安心感がすごいですね。姉は2年間一人暮らしをしていたから頼りになるし、私は一人暮らしという感覚にはならないです。姉が料理、私が洗濯と家事を分担して、協力しあえる点がいいですね」

明るい薄井さんだが、落ち込むときもある。

「奥田民生さんのさすらいとフジファブリックさんの虹を聴きます」「大学1年生の女子にしては渋いですね。2曲とも突き抜けた明るさがあって、聴いていて爽快。明るい気分になれるのでおすすめです」

儼約術のほか、気分転換術まで教えてくれた。

(学生記者 石崎春日子=文学部1年)

3 芸能の仕事に就くために

(実家暮らし 女子学生2年)

「将来の夢は芸能系の仕事に就くこと」

文学部の中村朱里さんが夢を語る。スクールに通いレッスンを受けることが目標で、そのため週に2~3回、大学付近のコンビニでアルバイトをしながら、埼玉県の実家から通学している。

スキルアップに一計

アナウンス研究会に所属し、積極的に参加している。

「自分と同じような夢を持った人が多くいるサークルに入って、なるべくお金をかけずにスキルを学ぶ」

サークルを通して、タレント養成プロジェクトといったセミナーにも参加。自分で費用を捻出できる範囲で様々なチャ

ンスを最大限に活用しているという。

自分流節約法は4つある。

- (1) サークル・アルバイトなどの飲み会にあまり行かない
- (2) 稼いだ分以上のお金は使わずに貯金する
- (3) 長期休暇に向けてサークルの合宿費、将来のレッスン費のために計画的にお金の管理をしている
- (4) 昼食は、ほぼ毎日弁当を持参

日常生活の中で支出の多いのは洋服・アクセサリー代、趣味のカラオケ、そして友達との交際費。

将来のためにコツコツと節約を心がけながらも、「人と話すことが好き」「おしゃれをすることが好き」といった自分の「好きなこと」も積極的に楽しんでいく。友達と過ごす時間は特に大切にす

るようにしている。

お金の使い道にはメリハリをつける。

現在は実家暮らし。一人暮らしへの関心には、それぞれの金銭面のメリット・デメリットを挙げた上で、「してみたいとは思いますが、自分のためだけに家事をしたりするのは、意外と楽しいかもしれません」

理想の大学生活について、「やりたいことをどんどんやっていきたい。そのための十分なお金と時間があれば理想的。でも、授業にバイトにサークル…予定がぎっしり詰まっている中で取捨選択していくから楽しいのだと思います」

前向きな発言の中から、「何事も楽しむことが大切」という姿勢が感じられた。

(学生記者 精松あかり=商学部2年)

4 教え子の成績アップに感動

(実家暮らし 男子学生3年)

大学生の多くがアルバイトをしている。生活のためであったり、友だちと遊ぶためであったり、お洒落な服を買うためであったり。

実家暮らしだが1～2年時にアルバイトに明け暮れたという法学部・晝間(ひるま)祐亮さんの生活ぶりを聞いた。

「週5～6勤務を2カ月続けた時期もありました。1～2年の時はアルバイトが中心でサークルも中途半端だったと思います」

そんなにも、のめり込んだバイトとは「塾講」だ。

多様なアルバイトがある中で、予習・採点・模擬授業と「割に合わない」という声をよく耳にする。

一人暮らしに比べると、朝食も夕食も用意されるから、金銭的にはそこまでバ

イトをしなくても大丈夫なはず。それでも続けて来たのには何かこのバイトに魅力があつてのことだろう。

「確かに、時間外の労働も多くてとても大変でしたが、学ぶことも多かったです。人前で話す力や大人への対応の仕方、社会のルールを身につけることができたと思います。何より、自分の担当する生徒の成績が上がった時には、すごくうれしいです。責任も大きいですが、やりがいのある仕事だと思います」

塾講は生徒一人ひとりと向き合い、担当生徒の成績が上がるか、志望校に入れるかが自分にのしかかってくる。

だが、一緒に頑張ってきた分、生徒がうれしい時は同じように、いやそれ以上にうれしいだろう。生徒と一緒に喜ぶ晝間さんの姿が目につく。

実は今年4月に塾講のバイトを最低限に抑えることにした。

「今年は就職活動も始まるし、アルバイトも自分のことも中途半端にはできないので週1日しか入っていません。何より就活を理由に生徒と中途半端に接してしまうようにはなりたくないの。3年の夏は自分がやりたいことを精いっぱいやろうと思います」

アルバイトの経験によって、生徒とともに成長してきた。貯金と時間を今度は自分のために使って欲しい。

学生にとって、切っても切り離せないアルバイトは「お金を稼ぐ」ためでもあるが、それ以上に得られるものもあるはず。

夏休みにアルバイトをしてお金を貯めるのもいいが、それだけでなく自分で貯めたお金を自分がやりたいことに使ってみてはいかがだろうか。

きっと素敵な夏休みになるはず。
(学生記者 宮寺理子=法学部3年)

緊急アンケート

中大生の生活実態調査

～弁当持参 古着でおしゃれ～



学内誌『Hakumon Chuo』学生記者取材班は中央大学多摩キャンパスで、中大生の生活実態について緊急アンケートを実施した。回答してくれた中大生50人の生活は、不況下で仕送り額が減少し、アルバイトで補っていることが分かった。

1カ月の平均収入は一人暮らしで6～10万円(仕送り3～5万円、アルバイト3～5万円)。実家暮らしはアルバイトで3～5万円。同平均支出は実家暮らしで3～5万円、一人暮らしが8万円前後。支出の割合では食費が多くを占めた。節約には

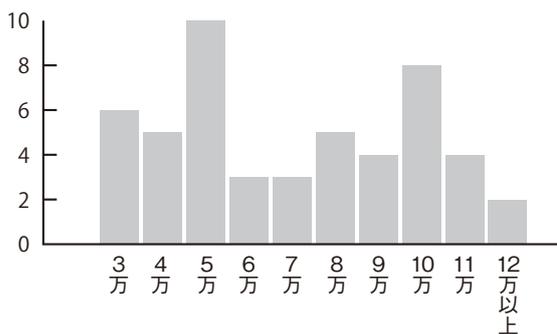
「弁当や水筒を持参する」「古着でおしゃれをする」との工夫がみられた。

学食は頼みの綱になっていて、「ミールクーポンを買う」「1階のかけうどんは220円と安い、ピンチにはおすすめ」「金曜日はカレーが安い」と生活感にあふれた答えが返ってきた。

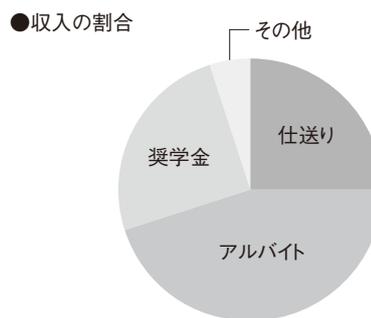
つらい時には「モモクロ」や「ゆず」の歌などを聴いて元気回復。中大生は不況に負けないぞ、と頑張っている。

(取材キャップ 学生記者=宮寺理子)

Q 1 収入 合計50件(単位円)

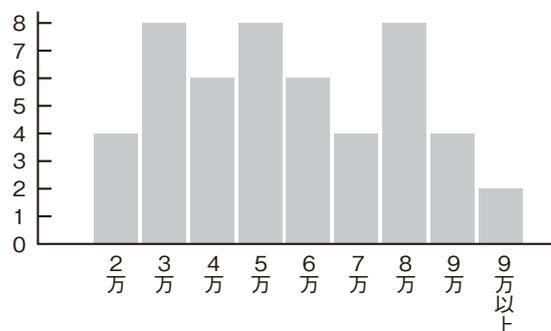


実家暮らしの人はアルバイト代3~5万円、一人暮らしの人はアルバイト代3~5万円+仕送3~5万円=10万円が多いよう。

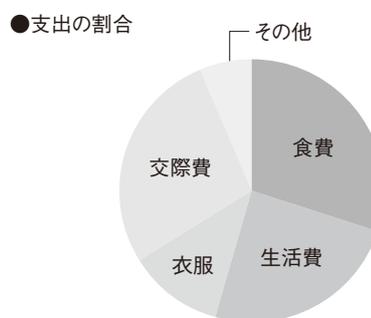


やはり不景気からか仕送りの割合が少なく、その分アルバイトでまかなっている現状が見て取れる。

Q 2 支出 合計50件(単位円)

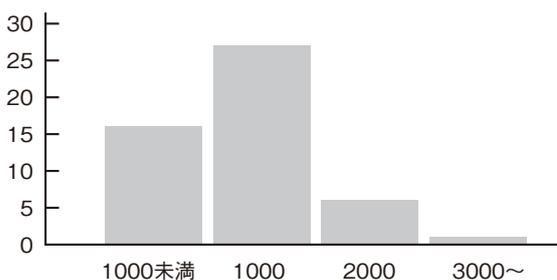


実家暮らしの人は3~5万円、一人暮らしの人は生活費も含めて8万円前後のよう。

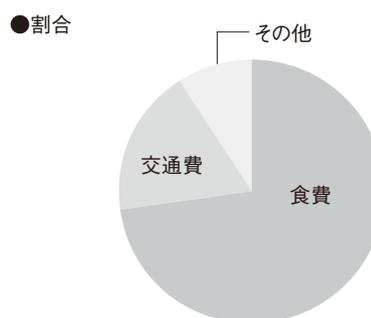


やはり食費の割合が多くを占め、次に生活費と交際費が占める。一人暮らしの人は生活費がかかる分、節約が必要になる。

Q 3 1日の生活費 合計50件(単位円)



やはり最近耳にするように1000円前後が多いよう。



食費がダントツに占める割合が多い!ここで節約することに生活を充実させる鍵があるかも!

Q 4 ついつい買っちゃう無駄遣い

1位 お菓子 100~200円

2位 飲み物 100円

3位 本・雑誌 500円程度

4位 タバコ 300円程度

やはり1位はお菓子!生協のお菓子は安くて種類が豊富なのでついつい買っちゃうのかも。

Q 5 自分流節約術

*節電、電気をつけない

*家計簿をつける

*500円玉貯金

*水筒持参

*弁当持参

*外出しない

*友達に奢らせる

*外食しないようにする

*食堂で食べる

*寝る

*無駄なものは買わない

*我慢する

*古着でお洒落する

みんなそれぞれの節約術で乗り切っていることが判明。やはり1日の中で一番出費がかさむ「食費」を節約するのが一番いよう。

Q 6 生協、食堂活用法

*好きな子をご飯に誘うとき、大学の食堂なら、みんなで行きやすく、ハードルも低かった

*ミールクーポンを使う

*文房具、本はなるべく生協で買う

*金曜日はカレーが安くなるのでカレーを食べる

*飲み物は生協の500円 100円のものを買う

*小盛にする

*ノートテイクで生協食堂の利用券をもらう

*2Fの食堂を使う!

*1Fのかげうどんは220円と安いのでピンチの時にはおすすめ!

*ご飯は家から持参して食堂でおかずだけ買う!

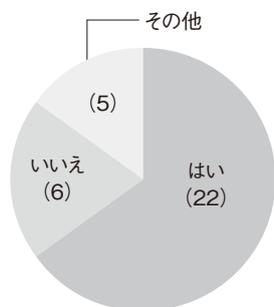
*パン屋さんは美味しくて安いのでおすすめ!

*基本食堂で済ませる

好きな子を誘って、手軽に安いランチを楽しむ? 一石二鳥かも!

Q 7 今の生活に満足しているか (単位人)

●満足か



Q 8 その他の人の意見

*お金がない

*就職が決まっていない

*通学時間がかかるため、バイトもできず遊べない

ほとんどの人が「満足している」としながらも、やはり不景気な世の中に不安は隠せないよう。

Q 9 苦しい時、落ち込んだ時に聴きたい歌は?

*モモクロ!「走れ」「行くぜっ!怪盗少女」 3票

*ゆず「栄光の架け橋」 3票

*Mr.children「終わりなき旅」

*HY「366日」、「NAO」

*YUI「Tomorrow's way」

*ZARD「負けないで」

*吉田拓郎「たどり着いたらいつも雨降り」

*ウルフルズ「ガッツだぜ」

*星野源「エピソード」

*岡本真夜「Tomorrow」

*福山雅治「泣いたりしないで」

*私立恵比寿中学「えびぞりダイヤモンド」

*SHINEE「A-YO」

*w-inds

*レミオロメン

*Days

*Green

*TDG

*Bump of chicken

*クラシック

パワフルでエネルギッシュな曲や、共感できる名曲がセレクトされました。

不景気で不安定な現在。お金もないし、外に出るのも億劫。そんな時はこれらの曲を聴いて、元気をもらってみてはいかがでしょうか?

Q10 今の不況、満足できない現状に一言!

*就職率を上げて欲しい!

*もっと大学で就職支援をして欲しい

*就活の早期化がしんどい

*就活はお金がかかるから、
電車代を割引にして欲しい!!!

*モノレールとフラット(学食)のパン、
もうちょい安くなりませんか?

*もっと時間が欲しい!

【一方では】

*頑張りましょう!

*いつかよくなると信じましょう!

*楽しみ方次第で満足できる?

*こんな現状だからこそ、いろいろ工夫して

少しでも充実した毎日を過ごせるよう、努力すべき!

*変化を恐れていたなら改善されない

*自分なりの満足を探す

*つらい時こそ笑顔で! ポジティブに頑張ろう!

*みんな!お金使おう!

*大学生のこの時期に社会を見て(インターン、バイトなど)
自発的に問題提起することが大切な気がします

*現状の問題点を若者に責任転嫁するのはやめてください

大学生の切実な声が聞こえてきました。

やはり、大学生にとって「就活」が一番身近な問題。不況の真ただ中にある現在、今後どうやっていかに学生の関心が強いようです。

ご協力ありがとうございました。

身に付けた少ない出費で楽しむ工夫 バイト中心の生活は要注意

中央大学 山田昌弘教授

「昔は、アルバイト代でレジャーを楽しんだり、ブランド品を購入していた。しかし、現在は、生きていくために必要な食費の割合が高い。また、つついお菓子を買ってしまうというのは、お腹が空いているというよりも、お菓子を買って食べることが1つの楽しみになっているのかもしれない。そういう意味で、学生は少ない出費で、より楽しむ

生活方法を身につけているのではないか。アルバイトをしなければならぬのは、仕方がないことかもしれないが、アルバイト中心に生活が回っていくことは不幸なこと。勉強やその他の活動など、学生時代にしか出来ないことをぜひしてほしい」

頑張れない時に 応援してほしいアーティスト

(オリコン調べ=4月)

順位	アーティスト	得票
1	福山雅治	95
2	桑田佳祐	51
3	aiko	42
4	桜井和寿	39
5	稲葉浩志	25
6	櫻井 翔	23
6	トータス松本	23
8	吉田美和	22
8	YUI	22
10	miwa	20

(対象=10~50代の男女各千人)

生活実態 不景気の影響、学生にも

東京私大教連の調査で分かった「仕送り額の減少」。94年度の12万4900円をピークにこの傾向が始まり、今回は過去最低だった前年度を3000円下回る9万1300円となった。

仕送り額から家賃を引いた生活費も3万300円で過去最低を更新。1日1010円。90年度がピークで7万3800円(1日2460円)あった。

《ピークのころの世相は93年にサッカーJリーグ開幕。皇太子さま、雅子妃結婚の儀に沸き、94年は関西国際空港が開港した》

いまアパートなどで暮らす下宿生の保護者の平均世帯年収は899万6000円。受験費用のほか初年度納付金、住宅費、入学後4~12月の仕送り額の合計は298万3000円。年収の33%を占める家計の大きな負担になり、6割以上の家庭が共働きで収入を得ている。奨学金を希望する学生は全体で65%、自宅外では72%に上った。

調査は昨年5~7月、首都圏の1都5県にある中大、早大、明大、日大など18大学や短大で実施され、昨年春の入学者の保護者5496人が回答した。